

## 主 文

本件上告を棄却する。

当審における未決勾留日数中六〇〇日を本刑に算入する。

## 理 由

弁護人白井正明の上告趣意は、事実誤認、単なる法令違反、量刑不当の主張であつて、刑訴法四〇五条の上告理由にあたらぬ。

よつて、同法四一四条、三八六条一項三号、一八一条一項但書、刑法二一条により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和五五年四月二三日

最高裁判所第二小法廷

|        |   |   |   |   |
|--------|---|---|---|---|
| 裁判長裁判官 | 栗 | 本 | 一 | 夫 |
| 裁判官    | 木 | 下 | 忠 | 良 |
| 裁判官    | 塚 | 本 | 重 | 頼 |
| 裁判官    | 鹽 | 野 | 宜 | 慶 |